ひよし社協

日吉地区社会福祉協議会

第62号

発行日　令和３年１月１日
発　行　会長　片野芳昭
編　集　日吉地区社会福祉協議会
☎(045)534－6532
印　刷　有限会社　創文社

新年明けましておめでとうございます

日吉地区社会福祉協議会　会長　片野芳昭

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお祝い申し上げます。

平素は日吉地区社会福祉協議会にご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

日吉地区社会福祉協議会は日吉地区に暮らす人々が、地域の課題や問題に取り組み「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」ができますよう、いろいろな福祉保健課題に取り組んでおります。

昨年は２月頃より、毎日、新型コロナウイルス感染症に関するニュースが大々的に取り上げられ不安な日々が続き、緊急事態宣言、全国一斉の学校の休校、テレワーク、身の回りでは諸行事開催の中止等、今までに経験したことのない日々でした。コロナが早く終息しますようマスク、手洗い、三密を避け新型コロナに負けないよう感染防止を心がけましょう。

日吉地区社会福祉協議会は昨年の総会が開催できず、書面にて決議させていただきました。

本年度は第３期地域福祉保健計画（ひっとプラン港北）の最終年度にあたり計画の見返りと第４期地域福祉計画の策定素案を３月末までには確定して行きたいと思います。

日吉地区社協は「防災から福祉を考える」を共通テーマとして掲げ、町あるきを実施してまいりました。昨年度まで４年間行ってきた町あるきは終了し本年度は新型コロナウイルスの事もあり、防災マップの総仕上げを行い、活動記録として残したいと思います。また各地区で防災と福祉の視点で作成したマップを印刷し各戸配布したいと準備を進めております。（一部地区を除く）

日吉地区社協の財源は助成金と活動にご賛同いただいた方の寄付金（賛助会費）によって事業を行なっております。ご協力よろしくお願いいたします。

新年のご挨拶

港北区長　栗田ろみ

あけましておめでとうございます。

日吉地区の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私たちのふるさと港北は、先人から受け継いだ「地域で支え合う文化」を大切にしてきました。昨今、新型コロナウイルス感染拡大により、多くの地域活動が休止や縮小せざるを得ない状況となりましたが、身近な地域でのつながりと支え合いの重要性は今後も変わるものではないと考えております。

日吉地区では、地域福祉保健計画『光と活力に満ちあふれる日吉』の推進に向け、「防災から福祉を考える」を共通テーマに取組を進めてこられました。昨年は、町あるきで集めた防災情報を基に、手作りの防災マップを作成されました。避難所までの安全な避難経路や、災害時要援護者の方の安否確認といった自助・共助の備えはますます必要となり、日吉地区で作成した防災マップの力が発揮されます。

また、5つのケア委員会では、子育てや高齢者・障害者の方々への支援に取り組み、地域の皆様の顔の見える関係づくりを進めてこられました。日吉地区ではこのような取組が、長きにわたり継続して行われています。これもひとえに日吉地区社会福祉協議会をはじめ地域の皆様のご尽力によるものと、心から御礼申し上げます。

本年は、次期計画の策定が行われます。社会福祉協議会や連合町内会の皆様により、これからの日吉地区がさらに、明るく安心な住みよいまちとなるように検討が続いています。区役所職員も日吉地区の皆様と共に、精一杯力を尽くしてまいります。結びになりますが、日吉地区のますますのご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和２年度 港北区社会福祉功労者表彰

日吉地区社会福祉協議会からは**地域福祉活動功労**を加藤かつ子様、井上弘子様、江波戸松江様、足立真佐子様、勝又禎子様が受賞され、**ボランティア活動功労**を柴田百合子様、根本和子様が受賞されました。皆様、おめでとうございます。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰の式典は中止となり、表彰状等は郵送にて皆さまに贈呈されました。

◆お知らせ◆

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の行事を中止させていただきます。

「福祉講座」

※来年度以降、地域の皆さまの健康と福祉の一助となる講座の開催に向けて、準備してまいります。

「光と活力」福祉実践活動発表会

※来年度以降、日吉地区社協の活動を皆さまに、より広く、わかり易くお伝えする場をご提供できます様、準備してまいります。

令和２年度賛助会費ご協力の結果報告

日吉地区５９５名の賛助会員の皆様より、１、３１０、０００円のご協力をいただきました。ここに謹んで御礼とご報告を申し上げます。

令和２年度 **賛助会員実績表**　令和２年11月30日 現在

地区名＼年度	令和元年度 会員数	口数	金額
日吉本町東町会	101	114	228,000
日吉本町西町会	172	186	372,000
日吉町自治会	76	89	178,000
日吉台町内会	13	13	26,000
日吉町宮前自治会	38	46	92,000
常盤会自治会	10	10	20,000
下田町自治会	53	55	110,000
サンヴァリエ日吉自治会	20	20	40,000
コンフォール南日吉自治会	53	53	106,000
箕輪町町内会	35	36	72,000
日吉第７コーポ自治会	14	14	28,000
さかえ住宅自治会	10	19	38,000
計	595	655	1,310,000

年末たすけ合い運動募金 ご報告

毎年11月から年末にかけて、「年末たすけあい運動」が全国的に進められております。日吉地区でも各町内会・自治会を通して募金をお願い致しましたところ、５、５４２、０００円のご寄付をいただきました。この募金を区・市の社会福祉協議会を経由し、県共同募金会に納入しました。そのうち一部を日吉地区の民生児童委員を通じて、地域の要援護者にお届けしました。

令和３年度 港北区社協賛助会員募集

みなさまからの賛助会費は
日吉地区社協の活動に役立てています。

賛助会活動にご理解ご協力をお願いいたします。

賛助会費　一口 2,000 円

◎地区社協活動の財源となりますのでご協力ください。

コロナ禍での支え合い

コロナ禍での支え合い

箕輪地区民児協　**田中　篤子**

新任箕輪地区民生児童委員としての活動を始めたのが、一昨年の暮れも押し迫った頃でした。それからほぼひと月程でコロナのニュースが流れ始めました。引継の挨拶も思うように進まず、研修は例年とは形を変え開催される中、委員同士のスムーズな情報交換は本当にありがたかったです。もとから町内活動が活発で、お互いが声をかけやすい環境であることがプラスに働いたと思います。

日吉南小学校市民図書室ではかなり早い時期にフェイスシールドの提供を受けられました。まさしく、まったく見知らぬ同士だったにもかかわらず、困ったときはお互い様の意識があったからこそではないでしょうか。つい最近、今まで見守り不要だった現状下では不安なのでお守り代わりに私の連絡先を知っておきたいと声をかけられました。箕輪地区に親御さんをお持ちの遠方に住むお子様からは、万が一に備えて、と区役所を通して連絡をいただきました。こうしてお気軽に声をかけていただくことで、お互い様でコロナ禍での支え合いができれば嬉しいです。

新任主任児童委員から見たコロナ禍での地域活動

日吉宮前地区主任児童委員　**塚田　真**

一昨年12月に主任児童委員を引き受けて新任研修もままならないままコロナ禍になり、実際にやることが出来た活動は小・中学校との連絡会と宮前公会堂で毎月行われる区主催赤ちゃん会でした。

小・中学校からは休校明けの児童や生徒たちの様子、コロナ感染防止対策をしながら学校運営を行う大変さを伺いました。登下校の様子を見守りながら双方と連携を取り合いサポートしていけたらと思います。

赤ちゃん会は会場の広さに対して参加人数が限られているため、お母さんたちは頑張って申し込んで赤ちゃん会に来たのだと聞きました。会場では同じ歳の赤ちゃんを連れたお母さんたちが「やっと仲間に会えた」「やっと皆と話せた」と本当に喜んでくれて、これは毎月やる意味があるなと痛感しました。子育て中には励ましあえる仲間が必要です。コロナ禍でも可能なやり方で子育ての応援が出来るように努めたいと思います。

コロナの次にこわい「無関心」

日吉地区民児協　**岩堀　康幸**

地域づくりで大切なことの一つが「顔の見える関係づくり」です。私たちは、じかに顔と顔を合わせ、言葉を交わすことで、お互いの体の様子、心の模様、衛生状態など、多くの情報を察することができます。しかし、コロナにより、私たちは、直接の交流を遠慮するようになりました。今後もしばらく、この状況は続きそうです。これが続くとこわいのが「ご近所さん同士が無関心になること」です。コロナによる閉じこもりの影響で、一人住まいの高齢者の体力の低下や認知症の急激な進行、夫婦間の家庭内暴力の急増などが起きているそうです。今までの様に会うことは難しいかもしれませんが、「そういえば、最近、お隣さんはどうしているのかしら」の気づかいを忘れないようにしましょう。夫婦げんかの声が絶えない、家の周りが雑然としてきた、照明やテレビがつけっぱなしなど、お気づきのことがあったらどうぞ、民生委員にご連絡ください。

〝2020〟の活動をふりかえって

下田地区民児協会長　**折笠　政子**

今年は、コロナウイルス感染症拡大の影響により3月には緊急事態宣言が出され活動が全てストップしました。そんな時に下田町でマスクを着用していない人が多いことに気がつきました。その時はもうマスクが手に入らなくなっていました。その事を受けて下田地区民児協に「ひとり暮らし高齢者の方にマスクを作って配布しよう」と云う事を提案しました。いろいろな意見が出ましたが全員一致で活動を開始しました。さらし10反、マスクゴム200mを調達し作業分担をし、いよいよ作業開始。打ち合わせが出来ない為メールでの連絡 ①さらし裁断4名 ②ミシンがけ4名 ③マスクゴムを切る2名 ④マスクにゴム通しビニール袋に入れ完成させる4名 ⑤連絡係1名、下田地区民児協の素晴らしい所は〝いざ〟と云う時に一致団結出来る所です。10日で320枚のマスクを完成させ、2枚ずつ配布出来ました。受け取った方々からの喜びの声を多々いただき、また、お礼状も何通かいただきました。即、行動出来て本当に良かったと思います。素晴らしい仲間に巡り合っている事を感謝しています。これからも力を合わせて頑張ります。

コロナ禍での避難訓練は代表参加258人

日吉本町地区　西町会副会長　**大野　義徳**

例年行なう防災訓練は、一人でも多くの会員に参加を呼び掛けて参加してもらい、イザという時の自助・共助を身につける努力をしてきました。しかし今年は新型コロナウイルスという感染症のため、「密を避ける」ことが大前提となり、実施に苦慮しました。検討の結果、東町会は高齢者の参加が多くなるため中止のやむなきに至りました。西町会はコロナ禍においても災害は起きるとの考えで、避難者を大幅に削減しての代表参加とし、「地震」と「コロナの感染」の同時発生を想定し避難者の避難所受け入れに重点を置いた訓練としました。『避難所（学校）は感染ストップ』を掲げ必ずマスクを着用し、検温・手指の消毒を行い、避難者の間隔は一m以上開けることとし、受付担当者はフェイスシールド・使い捨て手袋を着用しての訓練となりました。参加した会員は避難のみの訓練で、いつもの実技訓練ができず、見学もせずに現地解散となり物足りなさを感じたかもしれません。

ア・ラ・カ・ル・ト

横浜市立箕輪小学校

新型コロナウイルス感染症の影響で延期されていた開校記念式典を11月27日(金)に挙行することができました。これからも地域の皆様のご協力を得ながら子どもたちにとって楽しい学校を目指して参ります。よろしくお願いいたします。

校長　**井上　強**

運　動　会

校　舎

ドローン撮影（6年生）

開校記念式典

明けましておめでとうございます

日吉地区社会福祉協議会

会長	片野芳昭
副会長	青　博孝
〃	諸泉厚雄
〃	山科礼子
事務局長	足立真佐子
事務局次長	鈴木由美子
会計	高橋定雄
〃	由井昌子
常任理事	小島清
〃	白鳥千代子
〃	足立弘
〃	黒田喬治
〃	岡崎富美子
〃	小野寛子
〃	古川卓二
〃	森茂
〃	池田妙子
〃	小嶋由美子
〃	山下とも子
〃	折笠政子
監事	杉崎尅己
〃	相原鎮雄

編集後記

福祉活動も昨年はコロナ禍での制限もあり皆さん苦心しての内容になりました。今年は思う存分活動した記事を掲載出来ると良いですね。　Y・I

（編集委員）◎小嶋・足立（弘）・足立（真）・石井・岩堀・河内・鈴木・山科　◎印は編集長